

ゴールデンウィークは特に用心を!!
麻しん(はしか)にご注意ください ~感染拡大防止のために~

重症になりやすく、感染力が極めて高い、麻しん(はしか)が、2020年以降最多ペースで感染拡大しています。ゴールデンウィークを目前に控え、更なる感染拡大防止のため、皆様のご協力をお願いします。

① 麻しん(はしか)を疑う症状がある場合の対応

- 発熱や発疹などの症状がみられる場合は、外出を控えて、連休期間中でも事前に医療機関に連絡の上、麻しん疑いであることを伝え医療機関の指示に従ってください。
- 受診の場合は、周囲への感染を防止するため、公共交通機関の利用は避けてください。

② 疫学調査への協力

- 麻しん(はしか)の感染拡大防止には、患者や接触者に対する行政による調査が重要です。疫学調査へのご協力をお願いします。

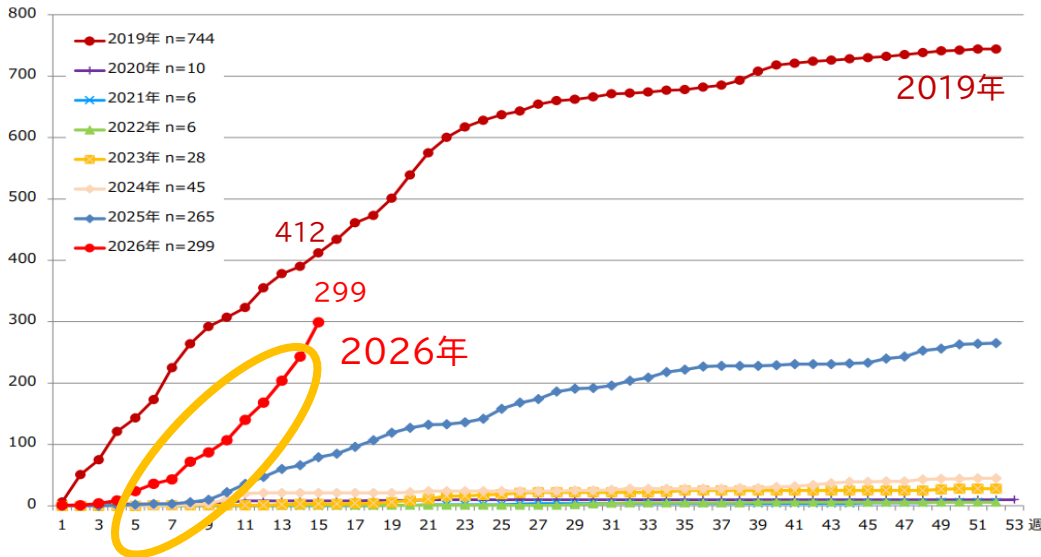
③ ワクチン接種の検討

- 発症予防、重症化予防そして感染拡大防止の観点から、ワクチンは2回接種することが重要です。2回の接種記録が確認できない方は、今一度、麻しん・風しんワクチンの接種をご検討ください。(特に、流行している10代から40代の方)

<特にご注意いただきたい方々>

・保育園や学校職員、医療機関職員、観光業スタッフ、空港職員など ・妊娠予定の方

麻しん(はしか)の感染状況

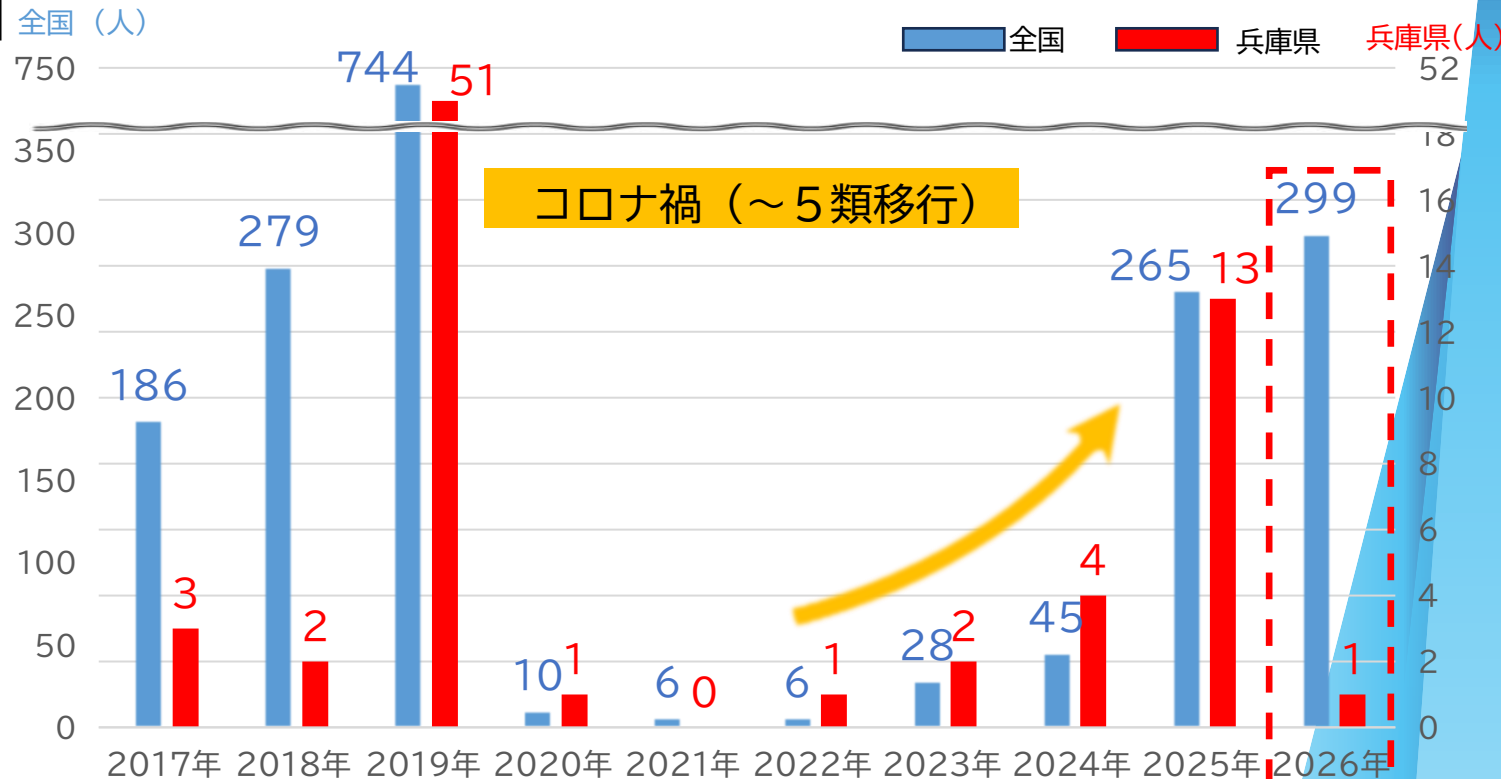


【1 週毎の累積感染数の推移(国内)】

2026年は、全国で299名の麻しん患者が発生(4月15日現在)し、直近10年で最も患者数が多かった2019年の同時期と比較すると7割程度となっているものの、新型コロナウイルス感染症流行以降、最多となっている。

【2 国内・県内の感染状況の推移】

- ・新型コロナウイルス対策の移動制限の緩和に伴い、海外との往来が増加し、麻しんの患者数は増加傾向にある。
- ・今年は、既に昨年の患者数を上回っており、2020年以降では、最多ペースで感染が拡大している。
- ・2026年の本県の患者の発生は、1名(4月15日現在)であるが、国内では感染拡大が続いており、警戒が必要。



※ 年は暦年。2026年は4月15日現在